

# JSS 海外安全速報

## 6日の抗議デモにトランプ氏も参加表明、騒乱のおそれ ＜米国：大衆運動＞

1月6日（水）に首都ワシントンD.C.で、トランプ大統領の支持者らが昨年11月の米大統領選挙に不正があったとする大規模な抗議集会を計画しており、トランプ大統領自身も3日にツイッターで同集会への参加を表明した。

トランプ大統領は12月19日にも、ツイッターに「1月6日にD.C.で大規模な抗議」、「(その集会は) ワイルドになるだろう」などと投稿し、支持者らによる大統領選への抗議デモを全面的に支持する姿勢を見せていた。これを同大統領によるお墨付きと受け止めた「Million MAGA (Make America Great Again) March」の主催団体は、ソーシャルメディアで「トランプ大統領が正式に全ての愛国者に対し、米国史上最大の抗議に参加するよう求めている」と主張し、トランプ支持者に参加を呼びかけている。

デモ隊は午前11時頃からワシントン記念塔、フリーダム・プラザ、議会議事堂前などに集結すると見られており、計1万5,000人以上の参加が見込まれている。地元警察はダウンタウンでの銃の所持禁止や一部道路の閉鎖を公表して警戒を高めているが、特に夜間にかけて反トランプ派や警官隊との衝突が懸念される。

同日は、連邦議会上下両院の合同本会議で各州の選挙人投票結果の集計が行われ、民主党のバイデン前副大統領の当選が正式承認される予定であるが、トランプ支持派は大統領選の最後の手続きが行われる同日に合わせて集会を開くことで、改めて徹底抗戦の構えを示すものと見られる。

### 駐在員等の留意事項

トランプ支持派はこれまでもワシントンD.C.で抗議集会を2回開催しており、いずれも日中は概ね平和であったが、夜になって参加者の一部がバイデン氏の支持者らと衝突し、負傷者が出る事態に発展している。11月14日（土）には男性1人が刺されて重傷を負ったほか、警察官2人も負傷し、少なくとも20人が逮捕された。12月12日（土）には4人が刺されて重傷を負ったほか、警察官2人を含む5人も負傷して病院に搬送され、翌13日までに少なくとも33人が逮捕された。

国立公園局（NPS）によれば、大統領就任式が行われる1月20日（水）にも、既にトランプ支持派団体などの複数の団体が抗議集会の申請をしているという。

今後の状況次第ではワシントンD.C.以外に騒動が波及する可能性も排除できないので、メディア報道などをフォローして事態悪化の兆候を見逃さないように努めるほか、特にワシントンD.C.においてはデモ現場、騒動が発生しやすい市中心部や繁華街などには極力近づかず、夜間の外出は控えることをお勧めする。

また、銃の所持が禁止されているにも拘らず混乱に乗じた発砲が行われる可能性があるほか、民主党色の強い各種施設や集まりなどを狙ったテロが発生する危険性もあるため、公共の場では警戒を怠らないようにする必要がある。

以上

本レポート内容の全部または一部の転送・転載・第三者への提供を厳禁します。